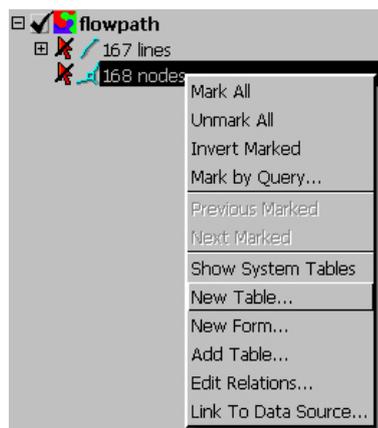


ノードテーブルで計算フィールドを使う

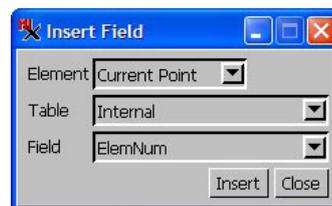
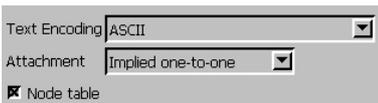
ご存知でしたか?... ノードテーブルに対して同じオブジェクトの他のテーブルから情報を持って来ることができます。

計算フィールドでノードテーブルを作ること...

- いちいち内部テーブルを表示せずにノードの要素番号が分かります。
- ノードにアタッチしているラインの要素情報が入手できます。
- 全てのノードに対するレコードを含むテーブルを自動作成できます。
- 計算値や直接入力値を持つフィールドを自由に追加できます。



新規テーブルの作成を選択して、そのアタッチメントタイプを「要素ごとに1つのレコード、レコード数は要素数と等しい (One record per element, record number equals element number)」に設定します。ウィザードが「テーブルプロパティ」ウィンドウを開いたら、「テーブル」タブパネルの「ノードテーブル」のトグルボタン（下図）にチェックを入れてください。



ノードテーブルの中の計算フィールドの式としてフィールドを挿入する際、上のようにデフォルトの値を使用すると、オブジェクトのノードと同じ数のレコードを持ったテーブルが作成されます。

下のクエリは、ベクタオブジェクトの全てのノードに対してそのノードを開始点のノードとするラインからの情報を取得します。ノードから上流に向かうラインがなければ、このクエリは「0」を返します。

```
for i = 1 to Vect.$Info.NumLines {
if (Internal.ElemNum==Vect.line[i].Internal.StartNode) {
return (Vect.line[i].STREAM_ORDER.Horton);
}
}
return 0;
```

ElemNum	HortonStart	wsID
2	2	1
5	3	7
16	2	9
31	3	15
88	2	19

ノードやラインのプロパティに関する計算フィールドを持つノードテーブル。選択したノードに対するレコードが示されています。ポリゴンのプロパティも同じように見ることができます。

計算フィールド付きのノードテーブルの作成方法

- ノード要素の行の上で右クリックし、「新規テーブル」を選択します。
- 「ユーザ定義」を選択し、テーブルの名前や説明を入力します。
- ウィザードで「要素ごとに1つのレコード、レコード数は要素数と等しい」を選択します（テーブルプロパティでは「暗黙的 1:1 (Implied one-to-one)」と示されます）。
- 「テーブル」タブパネルの「ノードテーブル」トグルをクリックします。
- 「フィールドの追加」アイコンをクリックし、ベクタオブジェクトの中のノード数に対応する幅を持った計算フィールドを設定し、「式の編集」をクリックします。
- 「クエリ」ウィンドウの「フィールドの挿入」アイコンをクリックし、デフォルト値を受け入れます（Current Point、Internal、ElemNum）。
- 必要であれば「フィールドの追加」アイコンをさらにクリックして、フィールドを定義します。

さらに知りたいことがあれば...



以下の冊子をご覧ください：
クエリの作成と使用 (Building and Using Queries)

